

都内河口域における 水生生物の多様性

石井裕一

[公財]東京都環境公社 東京都環境科学研究所 調査研究科

【背景】 東京湾の内湾部の現況

- ・慢性的な**赤潮**の発生
- ・高水温期の**貧酸素・無酸素水塊**（**青潮**） → **無生物域**拡大

水環境・生物生息場環境は依然として厳しい状況

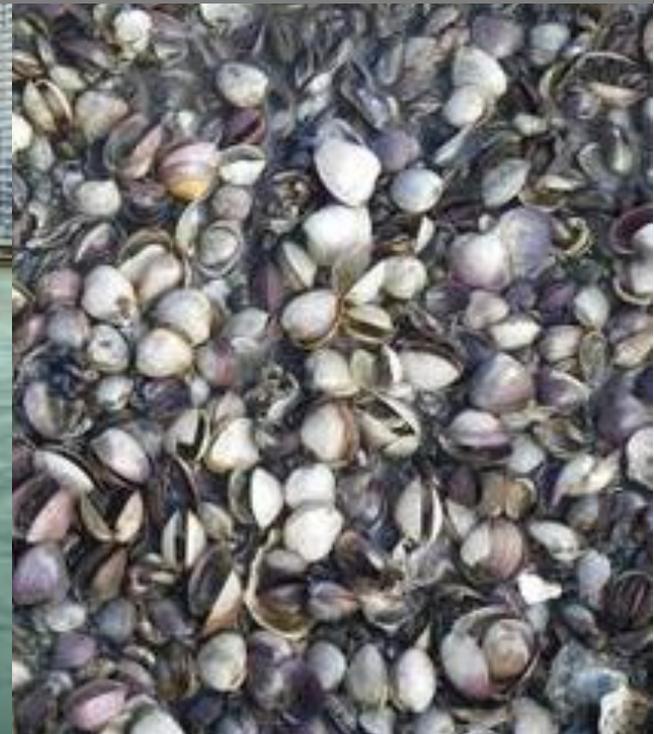
赤潮



青潮 (撮影:水環境課)



青潮でへい死した二枚貝



お台場海浜公園

隅田川(勝鬨橋)

沿岸の浅瀬、干潟や河口域 → 生物相が比較的豊か

潮干狩り



ヤマトシジミ

釣り



ハゼ科

レクリエーションなど生態系サービスを提供

(生態系から人間が享受する利益)

【大都市沿岸域の課題】

自然環境と共生した水辺空間の創出

2020年の東京 (平成23年12月策定)

「河川や東京湾の水質改善を総合的・重層的に実施し、都民が憩い、**多様な生物が生息する水辺環境**として再生する。」

(目標2 これからの政策展開 河川・東京湾の水質改善)

東京都生物多様性地域戦略 (平成24年5月策定)

今後の展開 「自然環境の保全及び回復を図ることによる
水生生物の持続的生息」

水辺の生息生物に関する情報蓄積が課題

本日の発表

河口域における大型底生動物に関する調査結果



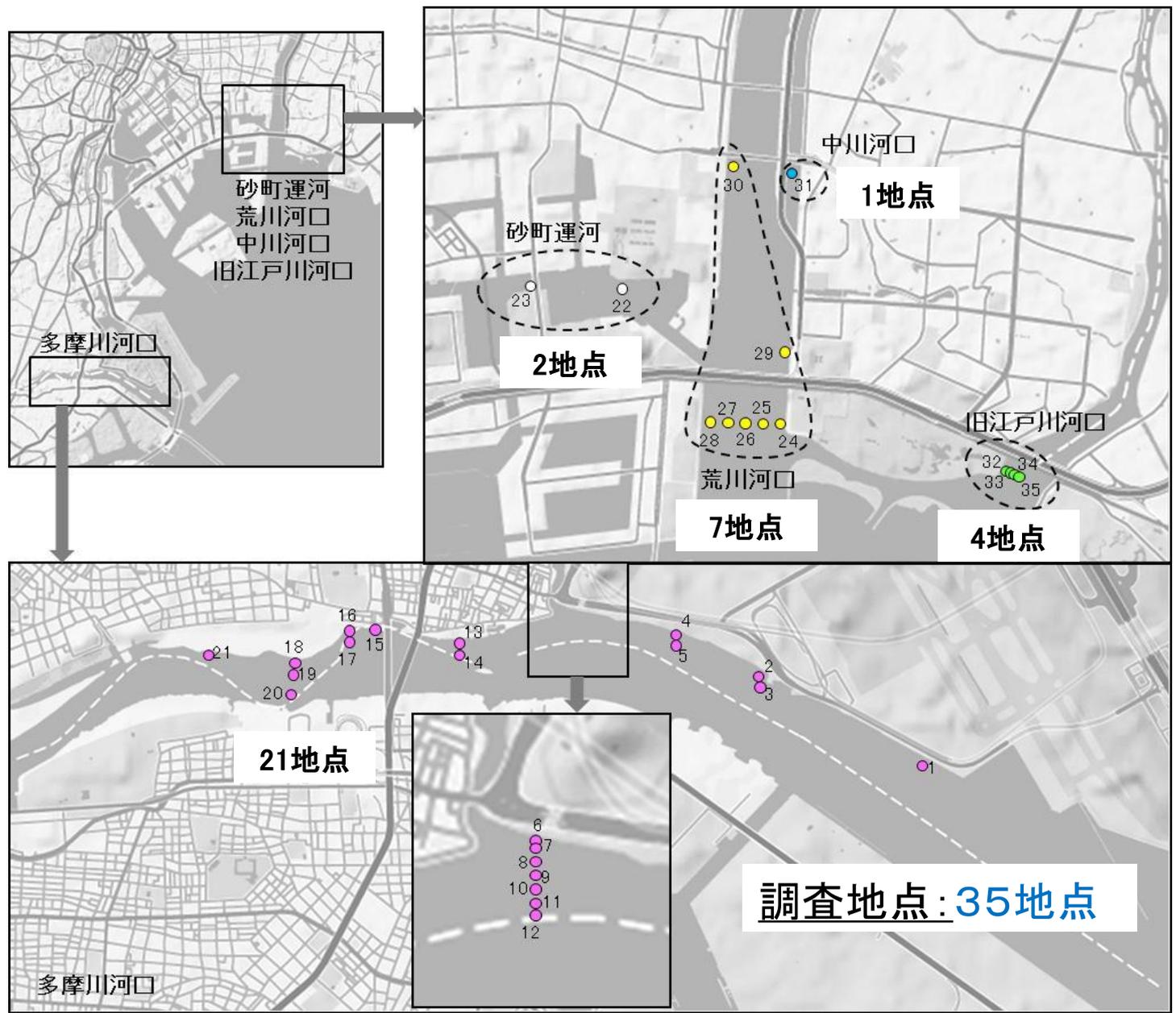
- ・種数と個体数の豊富さ
- ・多様度と均衡性



両者の関係性を探る

生息場の環境因子

【調査概要】調査期間：2011年9月～2012年3月（隔月）



【方法】底質試料

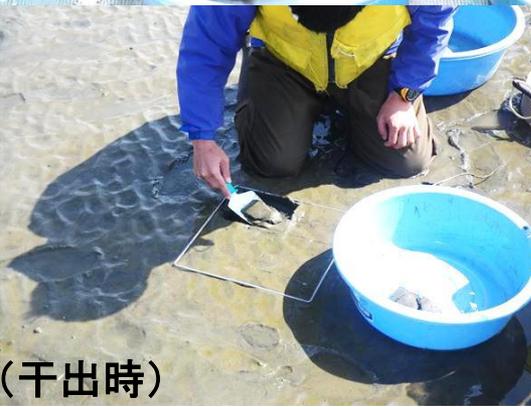
生物生息に影響する環境因子

- 泥温
- 酸化還元電位 (ORP)
- 強熱減量 (IL)
- 酸揮発性硫黄化合物 (AVS)

エックマン・バージ採泥器



(冠水時)



(干出時)

ハングスコップ



× 3回 (0.0675m²)

生物試料

大型底生動物

- 種数
- 個体数
- 多様度指数
- 均衡性指数



1mm目の篩